

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 13日

事業所名 こどもプラス盛岡南教室

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境 ・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		・訓練室、相談室等、適切なスペースは保たれている。 ・環境設定の工夫、改善を心掛け、園児が過ごしやすい空間を考えていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1		・配置基準には満たしてある。 ・子供たちが増えているため、スタッフを定数以上配置していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	・賃貸物件のため、構造を変えることはできないが、整理整頓を心がけ安全に活動できるように努めている。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		・日々の振り返りを大切にしている。 ・活動や行事において、次に繋がるよう振り返りや反省を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1	・今年度分の評価表は、保護者に配布・回収済み。。結果は、職員間で共有し、よりよい支援に繋がるよう話し合いを行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			・評価結果を法人HPにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		3	・外部評価は受けていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・2回/月、本部からのZOOM研修を受け、当日に振り返りを行い、日々の支援につなげている。
適切 な 支 援	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・情報量が少ない場合アセスメントに随時加えていく方法をとっている。 ・客観的分析は十分ではない。 ・家庭からの情報を基に支援計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		・医療機関等で知能検査・発達検査を受けている子どもに関しては、スタッフ間で情報を共有し、支援計画に活かしてはいるが、直接アセスメントツールを使用したことはない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		・スタッフ間で相談しながら共有して立案している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・運動遊び(療育)がメインのプログラムだが、内容が固定化しないよう配慮している。 ・特性に関係なく、誰でも気軽に楽しめて継続していけるよう内容を工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	1	・季節行事を取り入れながら様々な経験ができるよう工夫している。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
支援の提供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		・一人ひとりに応じた支援計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	1	・学校での様子を共通理解し、適切な対応を心がけている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	1	・十分とは言えないが行っている。今後定着できるよう努めていく。 ・送迎に時間がかかり、パートも含めた上で、全体での話し合いはできていないときもある。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		・保護者との連絡帳（HUG）、振り返りを行っている。 ・日々の支援を記録に残してはいる（HUG）。 ・支援の検証・改善につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・定例のケース会議を開き児童の状況把握を行っている。 ・モニタリングについては定期的に行い保護者から同意を得た上で見直ししている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	3		ガイドラインに沿って複数の基本活動を組み合わせ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		・参加しないほうが多い。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2		・各学校の先生とも連携をしながら、伝達漏れがないよう取り組んでいる。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	・該当の利用児童がいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2		・就学前に園から本人の情報をいただき、より良い支援ができるようにしている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		・該当の児童がいないが、共有が必要になれば積極的に取り組んでいく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	・専門機関からの助言や研修は、必要に応じて受けていく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	・特にない。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			5	・参加できていない。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・月に一度保護者へ「おたより」を発行、お迎えの時や送迎時、またスマホでも見れる「HUG」システムの連絡帳等を通してお子さんについての共通理解できてると思われる。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		・来所・退所の際や面談の際に家庭での様子や困りごとをお伺いしたり、デイでの取り組みについてお伝えするようになっている。その中で家庭の様子も踏まえ成長していく過程で必要な活動など職員間で話し合う場を作り保護者へお伝えするようになっている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約の際に契約書、重要事項説明書を基に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		・保護者からのご相談に対しては丁寧に対応するようにしている。ご相談内容に応じて、担当の相談支援専門員等と連携を図り、解決の方法を見つけていくようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	・保護者同士の連携を深める良い機会なので年に一度の開催を計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・報告、連絡、情報共有の徹底に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・月に一回「盛岡南教室たより」を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			・同意書を交わし、個人情報の取扱いに十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			・わかりやすい言葉で短く説明したり、視覚支援を活用したりしている。保護者に対しては、気楽に話せるように普段から心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	・今年度は実施していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1		・感染症マニュアル及び非常災害時の対応マニュアルを作成している。 ・契約時に保護者に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		・年に2回、避難誘導訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	3		本部のWeb研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		・該当の児童がいないので特別な対応は行っていない。 ・個別支援計画書に身体拘束の説明を載せている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		・利用開始に当たって、保護者からアレルギーに関する情報を確認し適切に対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			その都度、記録を残し朝のミーティングじや職員会議時に共有している。	